

## サステナビリティ

日本調剤グループは、サステナビリティを中長期的な企業価値向上に向けた経営戦略の重要事項と認識しています。2022年度はマテリアリティ(重要課題)に対する取り組み・KPIの策定、TCFD提言への賛同表明およびTCFD提言に沿った情報開示の拡充等、着実に対応を進めてきました。

今後も長期ビジョンの見直しに伴うマテリアリティの見直し、目標・KPI策定、人的資本経営の推進、さらなる情報開示の拡充等、中長期の企業価値向上と社会課題の解決に向けた取り組みを推し進めていきます。

### Sustainability Data Book

サステナビリティ情報をステークホルダーの皆さまに網羅的に開示することを目的に「Sustainability Data Book」を公開しています。サステナビリティ基本方針、推進体制等、サステナビリティマネジメントの詳細につきましてはこちらをご覧ください。



<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/databook/>

#### 主な開示項目

- TCFD提言に基づく情報開示
- マテリアリティおよび対応する取り組み・KPI
- 取締役のスキル分布
- 倫理行動指針、人権方針、環境方針、調達基本方針・サプライヤー行動規範

### サステナビリティへの取り組み

#### ■ 「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定

気候変動の深刻化、生態系への影響、資源問題など社会課題が多様化する中で、社会を持続的に発展させるサステナビリティへの取り組みを経営の重要課題と捉えています。2021年にグループを横断する「サステナビリティ委員会」を設置し、気候変動課題への対応、人権保護、労働環境整備、腐敗防止への対応、ガバナンス強化など、グループ一体となった経営基盤の強化を図ってきました。これらの対応を進めた結果、ESG(環境・社会・ガバナンス)について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の両構成銘柄に初めて選定されました。



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

#### ■ 国連グローバル・コンパクトへ署名

2023年8月に、CSRに関する国際的なイニシアチブである国連グローバル・コンパクトに署名しました。「グローバル・コンパクト」に参加することは4つの分野(人権、労働、環境、腐敗防止)の10原則に対する企業姿勢を明らかにするものです。近年、企業活動が環境や社会に及ぼす影響と、環境や社会が企業活動に及ぼす影響の両面を考慮し、企業活動を実施していくことが求められています。そのため、当社グループの役職員に本趣旨を周知するとともに、10原則の価値観を企業活動に照らし合わせ改善点を見極め、持続的な企業価値向上に取り組んでいきます。



#### サステナビリティ委員会の活動状況(2022年度)

- 活動回数 3回
- 主な議論の内容
  - マテリアリティのKPI設定
  - TCFD提言に沿った情報開示、Scope1,2の算定状況、CO<sub>2</sub>削減目標
  - サステナビリティ評価のギャップ分析
  - 倫理行動指針の改定
  - 人権方針、環境方針、調達基本方針・サプライヤー行動規範の策定
  - 環境リスク、人権リスクへの対応
  - 人的資本経営への対応

# 日本調剤グループのマテリアリティ(重要課題)

2021年度に、持続可能な社会への貢献に求められる21のマテリアリティを特定しました。また、事業活動を通じたサステナビリティへの貢献と経営基盤の強化をより具体的に進めていくために、マテリアリティに対応する取り組み内容とKPIを定めました。今後は、策定した取り組みの実行とKPIの管理を通じて、サステナビリティ経営のさらなる推進を図って

いきます。なお、取り組みとKPIは適宜見直しを行うとともに、検討中のものについては随時情報開示を進めていきます。マテリアリティの特定プロセスおよび取り組み・KPI等の詳細は日本調剤グループサステナビリティサイトをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/materiality/>

重要課題グループ	マテリアリティ	対応するSGDs
医療のクオリティとアクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 薬局機能の強化(高度医療や地域医療への対応)による患者さまの薬物治療効果の向上</li> <li>② 未病・予防など地域の健康をサポートする薬局機能の拡張</li> <li>③ 薬局における医薬品使用の適正化による社会保障への貢献</li> <li>④ 地域の医療・福祉インフラとしての薬局の持続的な運営、災害・パンデミック等への対応</li> <li>⑤ 薬局における医療安全の確保</li> <li>⑥ DXによるオンライン医療推進と新規ビジネス創出</li> <li>⑦ 医療発展に貢献する調査・研究発表</li> </ul>	
医薬品の品質と安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 高品質で安全性の高い医薬品の研究開発・製造</li> <li>⑨ 医薬品の安定供給</li> </ul>	
医療機関の人的課題の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 良質な医療サービスの提供に向けた人的側面からの支援</li> <li>⑪ 産業医紹介によるメンタルヘルスを含む健康と労働衛生の支援</li> </ul>	
カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの寄与	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ 薬局と工場をはじめとした廃棄物の削減と資源利用の効率化</li> <li>⑬ エネルギー利用の効率化と再生可能エネルギー利用によるCO<sub>2</sub>削減</li> <li>⑭ 環境・社会配慮と透明性に優れたサプライチェーンの構築</li> </ul>	
多様な人材の育成と活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑮ 会社の成長を支える人材の確保と、従業員の成長を促す人事制度の整備</li> <li>⑯ 人権尊重と女性活躍・ダイバーシティの推進</li> <li>⑰ 従業員の健康と働きがいを増進する職場環境の確立</li> </ul>	
社会的責任を果たすためのガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑱ 難病や障害などの医療福祉領域への支援</li> <li>⑲ コーポレート・ガバナンスの持続的な強化と透明性の高い情報開示</li> <li>⑳ コンプライアンスの持続的な強化と腐敗防止</li> <li>㉑ リスクの適正な評価と対応による機会創出</li> </ul>	